

8月1日：利益確定によって下落（VN 指数 -0.44%）

- VinGroup 関連株が上昇を続けていることで、VN 指数も続伸で取引を開始した。
- また、銀行株も好調で、相場を押し上げていた。
- しかし、午後に入ると利益確定圧力が高まり、下げに転じていった。
- その後、下げ渋る場面もあったが、引けにかけて、下げ圧力はさらに強まり、VN 指数は下落して取引を終えた。
- 騰落別では幅広い銘柄が売られた。156 銘柄が上昇、310 銘柄が下落した。58 銘柄は変わらずだった。
- 流動性の改善は続いており、売買代金は 26.4 兆ドンと高水準だった。

VN30 指数はさらに下落（VN30 指数 -0.70%）

- 時価総額・流動性の大きい 30 銘柄で構成する VN30 指数は、6 銘柄のみが上昇、22 銘柄が下落した。2 銘柄は変わらずだった。
- VIC (+6.9%) は上昇が続いており、本日もストップ高だった。BID (+2.1%)、CTG (+1.3%)、HDB (+1.2%) といった銀行株がそれに続いた。
- 一方、大きく下落したのは NVL (-5.6%)、PDR (-3.9%)、MWG (-3.7%)、HPG (-2.5%)、VNM (-2.6%)、SSI (-2.9%) などが挙げられる。

セクター・個別株の動き

- 第 2 四半期決算発表の直後だが、VGC (+2.5%) は年初来 7 か月の業績予想値を発表し、好感された。純利益は 1.32 兆ドンに達し、年間の目標をすでに上回った。

- 上昇が続いていた NVL (-5.6%) は下落に転じた。同社はさらに二つの社債の利払い・償還を遅らせたことが嫌気された。NVL は第 2 四半期に 2,010 億ドルの純損失を発表している。
- 外国人投資家は 2,774 億ドルの売り越しだった。VIC、HPG、VHM、CTD などが売られた一方、MSB、PNJ は買われていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。